

# 寒河江地区

# ふくし

令和6年12月5日

第13号

発行

寒河江地区社会福祉協議会

## 地域福祉活動の推進について



寒河江地区  
社会福祉協議会  
会長 眞木 恒雄

平素から、皆様には寒河江地区社会福祉協議会の事業運営について、温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

近年の少子高齢化や核家族化の進展により、一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯及び空き家等が急速に増加しています。

このような状況のなか、市民誰もが住み慣れた地域で安全安心な生活を送っていくためには、市や市社会福祉協議会をはじめ、地域福祉の担い手である民生委員児童委員、地域福祉推進員、町会長、福祉関係団体、ボランティアの方々との連携・協働を進め、課題を解決できる地域づくりを推進していくことが必要であると思っております。

令和6年度においても、市社会福祉協議会の重点事業として掲げている「地域見守りネットワーク事業」に協力するとともに、8つの重点事業の継続と充実・強化を図り、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

今後とも皆様と共に地域福祉活動の推進に努めてまいりますので、ご支援、ご協力を宜しく御願い申しあげます。

## 令和6年度事業について

近年の少子高齢化や核家族化の進展により、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯及び空き家等が急速に増えてきています。これにより地域や家庭のつながりの希薄化が進むなど社会環境は大きく変化し様々な課題が生じています。

このような中、本会においては、地域の福祉力の維持・強化を図るべく、これまで役員・委員の研修を実施するとともに、福祉施設の慰問や、各地区で開催されている敬老会を支援しています。そして会報「寒河江地区ふくし」を発行し、啓発活動を推進してきています。



第4わんぱくクラブに慰問金を贈呈

令和6年度においても、事業の継続と充実・強化を図りながら、次の事業を重点に地域福祉の推進に取り組んでまいります。



らっふるに慰問金を贈呈

### 重点事業

- ① 総会、役員会及び委員研修会の開催
- ② 地域見守りネットワーク事業への協力推進
- ③ 福祉施設への慰問、慰問金の贈呈
- ④ 敬老会事業への支援、助成
- ⑤ 会報「寒河江地区ふくし」の発行
- ⑥ 市社会福祉協議会及び関係各機関との連携、強化
- ⑦ 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい運動の推進
- ⑧ その他、社会福祉に関する事業

寒河江市学童保育きらきらクラブ

放課後児童支援員 柏倉千恵子

平成10年寒河江市学童保育きらきらクラブは市内3か所目の学童として開所し、今年で27年目を迎えました。開所当時は、学区内の民家を借用し10名の児童での生活から始まりました。平成25年に中心市街地活性化センターフロラー・SAGA E4階に移転し、児童数も年々増加し現在では同施設内できらきら1・きらきら2と分かれ、きらきら1が35名・きらきら2が32名合計67名の児童が利用しています。

毎日、学校からフロラー4階まで階段を上り元気に『ただいま!!』の声が響きます。宿題をした後は好きな遊びを友達と過ごす子どもたちの目は活き活きと輝いています。またおやつ時間も楽しみの一つで、笑顔が溢れています。

学童が安心して過ごせる場所となるよう、今後とも家庭、地域、学校と連携し支援していきたいと思えます。



敬老会補助金 助成先 (申請町会名等)

- 六供町公民館
- 緑町1町会
- 緑町2町会
- 緑町4町会
- 上町町会
- 高田新町
- さくら町会
- 陵南町町会
- 舟橋公民館
- 元町区
- 美原町公民館
- 若葉町会
- 本楯町会
- 栄町公民館
- 八幡町町会
- 長岡町会
- 山岸南町会
- 山岸町会
- 石持公民館
- 丑町1町会
- 丑町2町会
- 横町町会
- 新町町会
- 新町1町会
- 20町町会
- 駅前1町会
- 幸町町会
- 西の町
- 27町会
- 中央地区町会
- 丸内町会
- 矢の目町会
- 34町会
- 35町会
- 七日町町会
- ほなみ町会
- 南町町会
- 中内楯町会
- 十日市場
- 新宿町会
- 桜小路町会
- 越井坂2町会
- 越井坂3町会
- 東新山町会
- 末広公民館
- 新山町会
- 日の出町会
- みずき町会

10月末日現在

元町地区敬老祝賀会

元町区 区長 高砂 隆

令和6年度元町地区敬老祝賀会は、元町区と元町公民館の主催により、10月20日(日)にホテルシンフォニー本館で盛大に開催されました。

当日は、地区内の敬老対象者340名のうち61名がご参加くださいました。開会式では坂野公民館長の挨拶に続き、区長の挨拶、そして佐藤市長や荒木市議よりご祝辞をいただきました。米寿を迎えられた方々には、市長より賀詞が贈呈され、その後、祝謡や祝舞さまざまなおアトラクションが行われました。

アトラクションでは、黒田節や、元町神輿保存会元鳳会による神輿甚句、大黒舞などが披露され、さらにカラオケやビンゴ大会、ジャンケン大会などもあり、大いに盛り上がりました。参加者の皆さまは和やかに談笑し、楽しいひとときを過ごされました。最後には「来年も元氣にお会いしましょう」とお約束し、無事に閉会となりました。



坂野公民館長 開会挨拶

佐藤市長より米寿代表者へ賀詞贈呈



神輿甚句 元鳳会

敬老対象者の皆さまが、これからも健康でお元気に、そして笑顔あふれる日々をお過ごし、くださることを、心より願っております。元町区としても、皆さまが安心して暮らせる地域づくりに引き続き努めてまいります。

# 長岡町自主防災会 長岡町親睦コミュニティ広場

自主防災会長 木村 孝

長岡町は、長岡山、八幡様、つつじ公園、寒河江高校、厳島神社（弁天様）などのある寒河江公園の中に位置し、四季折々の自然が大変美しいところです。

しかし、本町内会も他町内と同様に、少子高齢化が進み、世帯数、会員数の減少がみられます。令和6年現在、世帯数は37世帯となっており、平成まで活動していた子供会育成会は、子どもの数の減少のため、活動を休止している状況です。八幡様の近くに位置していることもあり、寒河江祭りの時は、町内あげて子供神輿をおこなってきたのですが、今やその活動も休止となっています。

そこで、年に一回くらいはみんなで集まって、親睦を深める機会が必要との意見がだされ、平成30年から町内会に実行委員組織を作り、長岡町親睦コミュニティ広場と題して、10月に芋煮会を行っています。



長岡町親睦コミュニティ広場（芋煮会）の目的は、町内の会員の親睦や交流を図ることはもちろん、自主防災活動の一環として、皆が集まり、炊き出し訓練としていも煮を大鍋で作ったり、会員の近況を報告しあったりといった安否確認の役割も担っています。近くに住んでいても、なかなか顔を合わせないため、久しぶりに顔を見て交流をする大切な機会になっ

ています。コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年〜4年まで休会しましたが、昨年令和5年からまた再開することができました。

今年10月13日（日）に、八幡様の参集殿をお借りして行われ、約50人の会員の参加がありました。できたてのいも煮を食べながら、ビールや飲み物を酌み交わし、福引きや近況報告などで大変盛り上がりました。同じ町内に住んでいるとはいえず、普段なかなか顔を見て話す機会が少ないので、久しぶりに会って交流することが出来て大変よい機会になりました。なによりも集まった皆さんの笑顔を見ることができ大変よかったです。

また、当日会場まで足を運べない高齢者のいる家庭には、できたいも煮を配るなど福祉活動も合わせて行いました。実行委員になった皆様からはいも煮作りや買い出し、いも煮の配達なども進んでいろいろな仕事を引き受けてもらい、おかげで無事に楽しく会を実施することができました。参加してくれた会員からも大好評で、ぜひこの活動を長く続けていきたいという声がかれました。

本町内会は、世帯数、人数とも少ないため、防災活動単独の行事の開催は難しいところがありますが、会員の日頃からのこうした交流活動や炊き出し訓練が、災害時には大変役立つものになると思います。今後とも会員の皆様の協力のもとに、この長岡町親睦コミュニティ広場を継続していきたいと考えています。



地区社協では、例年各施設を慰問し、慰問金を贈呈しており、本年度も教材や備品購入等の一部として次の各施設に慰問金を贈呈しました。施設を利用されている方たちには、明るく楽しく活動していただきたいと思ひます。

- 第一わんぱくクラブ
- 第二わんぱくクラブ
- 第三わんぱくクラブ
- 第四わんぱくクラブ
- 第五わんぱくクラブ
- 第六わんぱくクラブ
- 第七わんぱくクラブ
- きらきらクラブ1
- きらきらクラブ2
- らっふる
- さくらんぼ共生園



## 委員研修会を開催

令和6年10月7日  
南陽市社会福祉協議会様へ視察研修

当会では、地域福祉の維持向上を図るため、委員研修会を例年実施しており、今年度は南陽市社会福祉協議会のご協力を頂き視察研修を行いました。

初めに、南陽市健康長寿センターを訪問して、南陽市社会福祉協議会の長谷部事務局長様から、南陽市社会福祉協議会の事業内容についての講義をいただきました。地域福祉活動では、八つの支部社会福祉協議会が、敬老会やふれあい給食サービスのほか、地域の実情に沿ったサロン・研修会・見守りなど幅広い活動をされています。さらに特色ある活動として、住民による有償ボランティア「ティア」フック



ひなたぼっこ

ティア「フック」は「ゴミ出し・除草・除雪など日常の困りごとの支援を行っておられました。次に、南陽市内に四カ所ある通所型の介護予防施設の中で、みんなの茶の間ひなたぼっこを視察訪問しました。こちらの施設は民家を活用した交流スペースで、地域の方が主体の通いの場として、お茶のみやトランプゲームや手芸品の製作などを楽しみながら活動されています。

続いて、南陽市の菊まつり宮内会場と熊野大社を南陽えくぼの里案内人の鈴木様からガイドをいただき視察、帰路に紫金園須藤ぶどう酒さんを見学して南陽ワインの歴史などを学びました。今回の研修で学んだことを、寒河江地区に持ち帰り、今後の取組みに活かして行きたいと思ひます。

（総務 千石 等一）



南陽市社会福祉協議会

# 市社協の窓

寒河江市社会福祉協議会 事務局次長

小野田 雨香

日頃より地域の皆様には市社協にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。市社協では、様々な地域福祉を支える事業を行っていますが、今回は、2つの事業についてご紹介したいと思います。

## 【成年後見に関する事業】

今年度から実施している「成年後見事業」では、高齢者や障がいのある方などで意思決定が困難な人を支援するために市社協が法人として成年後見人等となり財産管理などを行います。現在、市社協では高齢者や障がいのある方などで判断能力が十分でなく、日常生活に不安がある方を対象に、各種福祉サービス利用手続きの援助や日常的な金銭管理等を支援する「日常生活自立支援事業」を実施しています。対象の方でさらに症状が進んだような方が、成年後見事業の対象となっていくケースが多くなると考えています。

また、制度の利用促進や相談、関係機関との連携調整などを行う成年後見センターの設置準備を進めています。

## 【災害に関する事業】

令和6年は能登半島地震に始まり、県内でも庄内・最上地域を中心に大雨災害が相次ぎました。「災害が起きたら私達の暮らしはどうなるのだろうか？」と不安

を抱かれる方も多いかと思えます。

市社協では毎年、災害研修を開催しています。今年度は、10月に石巻市より災害支援の専門家をお招きし、災害への心構えや備えなど具体的に話しいただきました。

また、7月25日からの大雨災害では、戸沢村と酒田市へボランティアバスを運行し、泥出しなどのボランティア活動を行うとともに、戸沢村ボランティアセンターへ継続的に職員を派遣しました。

本市でも、大規模災害が起きた際には、災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れ及び調整を行うこととなります。今年度は、災害ボランティアセンター設置訓練を、市の防災訓練と合わせて柴橋地区で開催し、実際の動きを確認しております。災害時には、地域の皆様の力をお

借りし、災害ボランティアセンターを運営していくこととなります。運営協力員を随時募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

市社協では、今後も皆様のご意見を事業内容に反映させ、地域福祉の発展に努めてまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願いいたします。



## 令和6年度寒河江地区社会福祉協議会 役員名簿

● 会長	長 眞木 恒雄 (中部地区町会長連合会)	● 理事	橋本 保 (東部地区町会長連合会)
● 副会長	安孫子 誠 (民生委員児童委員)	● 理事	佐藤 玲子 (民生委員児童委員)
● 副総務	瀬野 義昭 (東部地区町会長連合会)	● 理事	那須 吉雄 (民生委員児童委員)
● 総務	千石 等 (東部地区町会長連合会)	● 理事	太田美津子 (民生委員児童委員)
● 理事	白田 一昭 (民生委員児童委員)	● 理事	小畑 薫 (民生委員児童委員)
● 理事	和田 優市 (中部地区町会長連合会)	● 監事	鈴木 雅彦 (中部地区町会長連合会)
● 理事	奈良崎 一雄 (中部地区町会長連合会)	● 監事	木村 孝 (東部地区町会長連合会)
● 理事	阿部 一 (東部地区町会長連合会)		

## 編集後記

◆ 会報第13号を予定通りお届けすることが出来ました。快く原稿をお引き受け下さった方々に心より感謝申し上げます。

◆ 今年は、能登半島での元日の地震・9月の豪雨と大きな災害が続きました。県内も、7月に庄内・最上地域の豪雨災害がありました。

◆ 台風の大規模化・猛暑日の長期化と、地球温暖化現象と結びつく災害が続きました。

◆ これから寒い冬がやってきます。雪の季節になると、厄介な雪片付けが待っています。大雪の時は、隣近所と共に協力し、互いに助け合うことが、大切になります。

◆ 市民さくらんぼ憲章「わたりの心をもち、小さな親切を実行します」を心掛け、安全で安心な住みやすい社会にしていきたいものです。



○ 編集委員長 瀬野 義昭  
○ 編集委員 全役員